

教委だより

No.440



令和7年3月3日

編集発行 富山県教育委員会
発行人 教育企画課長

令和6年度 全国中学校体育大会

「全国大会で活躍した富山県の中学生」

富山県中学校体育連盟 理事長 藤田 慎吾

「君の憧れ 君の努力 その全てを北信越に」のスローガンのもと、令和6年度全国中学校体育大会(夏季大会)が8月に北信越ブロックで開催されました。本県ではソフトボール(富山市)、相撲(射水市)、ハンドボール(氷見市)の3競技を行い、全国各地から1606名の選手が参加しました。本県からは202名の選手が12競技に出場し、ハンドボール競技男子では西條中学校の2位、バドミントン競技男子シングルスでは奥真優選手(伏木中)の2位をはじめ、4競技13種目において入賞を果たしました。

また、12月に滋賀県で開催された第32回全国中学校駅伝大会では、大沢野中学校が女子の部で見事2年連続2位となる快挙を果たしました。5区を走った黒川志帆選手は2年連続区間賞となる力走を見せてくれました。

今年度の全国中学校体育大会の開催に際し、富山県教育委員会、開催市教育委員会、関係競技団体をはじめ、多くの方々にご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。本連盟ではこの経験を生かし、更なる選手の育成支援を進めてまいります。



全国中学校ハンドボール大会 男子の部2位
氷見市立西條中学校



全国中学校バドミントン大会 男子シングルス2位
高岡市立伏木中学校 奥選手



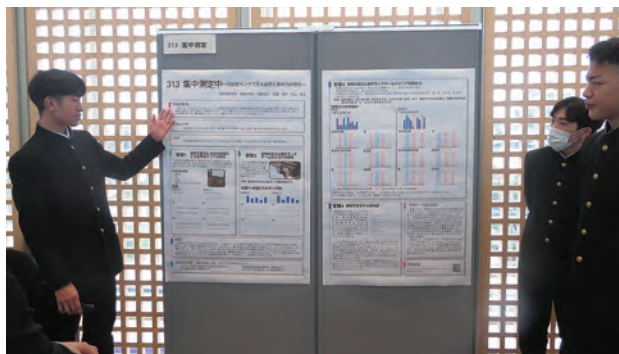
全国中学校駅伝大会 女子の部2位
富山市立大沢野中学校

探究科学科三校合同課題研究発表会

富山、富山中部、高岡高校の探究科学科(理数科学科・人文社会科学科)による「三校合同課題研究発表会」が12月22日(日)に富山国際会議場で開催され、3校の2年生約240人が59班に分かれ、これまでの研究成果を披露しました。

「探究活動は人としての成長においても非常に価値のある体験である」との代表生徒の挨拶を皮切りに、ステージでの代表発表「集中測定中～加速度センサで見る姿勢と集中力の関係～」(高岡高校)、「Mission Impossible～日本の英語教育はキャパオーバー!?～」(富山高校)、「拡散しない指示薬～eco-friendly...ってコト!?～」(富山中部高校)が行われ、活発な質疑応答がありました。ポスターセッションでは、多岐にわたる研究テーマが並び、3校の生徒に加え他校生徒や中学生、保護者、教育関係者など多くの方がそれぞれの発表に聞き入り、研究内容について参加者との間で示唆に富んだやりとりが繰り返されました。

この後は、各校での発表会に向けて研究をさらに深め、最終の報告書をまとめることとしています。



ポスターセッションの様子

Contents (主な内容)

● 全国中学校体育大会	1p
● 探究科学科三校合同課題研究発表会	1p
● 高校生とやま県議会	2p
● 第29回富山県中学校文化祭	2p
● 第36回富山県高等学校文化祭	2p
● 「高志の国文学」情景作品コンクール 表彰式	3p
● 夢の卵育成事業(富山県ひとづくり財団)	3p
● とやま探究フォーラム	4p
● 学校給食優良学校等表彰	4p
● 学校給食とやまの日(入善町)の取組	4p
● 全国高等学校総合体育大会	5p
● 環日本海インターハイ親善交流大会	5p
● 科学の甲子園ジュニア全国大会	5p
● とやま高校生マイスター	6p
● 永年勤続教職員表彰式	6p

● 教育功労者等表彰式	6p
● 総合教育センターNOW	7p
● とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業	8p
● ふるさととやまの自然・科学ポイントラリー	8p
● 幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指して	8p
● 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果より	9p
● 令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等に関する調査	9p
● 令和6年度 全国体力・運動能力等調査の結果	10p
● 子育てネットとやま	11p
● 公民館deつながるモデル事業	11p
● 令和5年度 中学校・義務教育学校及び高等学校卒業生の進路状況調査結果	11p
● とやま学校多忙化解消推進委員会	12p
● とやま科学オリンピック2024	12p
● 親子でSTEAM体験	12p

令和6年度「高校生とやま県議会」開催

高校生の主体的な政治参加意識や地域参画意識の向上を図ることを目的に、今年度も「高校生とやま県議会」を実施しました。7月16日の開会式では、県内の高校2年生50名の「高校生議員」に議員認定証が渡され、12月17日の本会議までの4回の活動において、講演や知事・県議会議員との意見交換等を通して政治参加の大切さを学びました。さらに高校生議員は5つの委員会に分かれて、「みんなのウェルビーイング向上」をテーマに、高校生の視点から県政に対する提案を協議、発表しました。



本会議の様子

第29回 富山県中学校文化祭

「となみ野から越中へ全国へ 芸術で描け 夢の『自分』」のスローガンのもと、10月6日に「第29回富山県中学校文化祭」が砺波市文化会館、砺波市美術館で開催されました。県内の中学校及び義務教育学校、特別支援学校の生徒が、音楽や郷土芸能、放送、美術等9部門で日頃の活動の成果を発表しました。会場を訪れた観覧者は、豊かな感性があふれる作品やステージ発表に見入っていました。



新湊中学校生徒による獅子舞



志貴野中学校生徒によるギターマンドリン演奏

第36回 富山県高等学校文化祭

第36回富山県高等学校文化祭が11月8日～10日を中心会期として、富山県民会館をメイン会場に開催されました。今年のテーマ「Colorful 足跡に芽吹く創意の花」には、先人のアイデアに刺激を受けた後世の人々が新たなアイデアを生み出していくという、輝かしい未来への願いが込められています。日々文化活動に励む高校生の創造性あふれる作品展示やステージ発表は、会場を訪れた観覧者を魅了しました。



吹奏楽専門部「ドリル演奏」富山工業高校



郷土芸能専門部「越中五箇山民謡」南砺平高校

「高志の国文学」情景作品コンクール 表彰式

今年で15回目となる「高志の国文学」情景作品コンクールの表彰式が11月13日(水)高志の国文学館で行われました。

今回も、美しく豊かな富山の自然や風土の中で育まれた富山ゆかりの「高志の国文学」に触れ、心に残る情景や心情を表現した素晴らしい作品が数多く出品されました。表彰式では、知事賞・金賞を受賞した生徒に廣島教育長より賞状が授与され、代表として富山中部高等学校の中嶋悠さんが挨拶をしました。



(富山県ひとづくり財団)

「将来こんな仕事に就きたい」という「夢の卵(将来の夢)」(作文)を募集し、優秀者をその道の専門家のもとへ派遣しています。20回目となる今年度は、小中あわせて1,006作品の応募があり、その中から4名が夏休み期間中に短期入門しました。

小学生の部 2名(応募数449作品)



人の役に立てるロボットプログラマーになりたい

原田 遥香さん(南砺市立城端小学校5年)

ロボットによる治療やケアの有用性に気付き、ロボットプログラマーになりたいと富山県立大学の智能ロボット工学科に入門。これからの社会におけるロボットの役割や基礎となるプログラミングについて学び、実際にロボットを製作しました。



スマホで操作できるロボットの製作



患者さんに安心や生きる希望を届けられる病院薬剤師になりたい

嶋原 颯真さん(高岡市立高岡西部小学校6年)

過去に家族が病院薬剤師に支えられた経験から、自分も病院薬剤師になって患者に生きる希望を与えられるようになりたいと厚生連高岡病院に入門。病院薬剤師の役割・業務について学び、模擬調剤体験や実際の患者指導の見学をしました。



模擬調剤体験

中学生の部 2名(応募数557作品)



世界中の困っている人を助けられる国際機関職員になりたい

清原 歌帆さん(小矢部市立石動中学校1年)

世界の難民を支えるためには自分は何ができるかを考え、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)駐日事務所、国連UNHCR協会に入門。難民を取り巻く最前線について知り、今後自分に何ができるか、何をすべきかを考える機会となりました。



UNHCRの職員の方との対談



日本の宇宙産業を輝かせる開拓者になりたい

山本 悠仁さん(富山大学教育学部附属中学校1年)

日本の宇宙産業をリードする開拓者になりたいと、JAMSS(有人宇宙システム株式会社)に入門。現在の宇宙開発・研究の現状や宇宙飛行士の訓練内容、国際宇宙ステーションの運用について学びました。入門とは別にJAXA調布航空宇宙センターも見学しました。



宇宙飛行士訓練についての講義

令和6年度 とやま探究フォーラム

探究的活動の一層の充実を図ることを目的に、各学校で進めてきた探究的な活動について、その成果を発表する「とやま探究フォーラム」が2月1日(土)に富山大学・富山県教育委員会の主催により富山大学五福キャンパスで開催されました。今年度は、県立学校22校と私立高校6校の計28校の生徒約260名が参加しました。開会式に続き、富山中部高校によるオープニング発表、その後は各校のプレゼンテーション、ポスターセッション形式での発表が行われました。発表終了後には、生徒交流会や教員等交流会が行われ、探究活動に関する意見を交換するなど、学校どうしのつながりを深めました。



学校給食優良学校等表彰

令和6年度学校給食優良学校等が選ばれました。



	富山県教育委員会表彰	(公財)富山県学校給食会表彰
学校給食 優良学校等	高岡市立戸出東部小学校 富山県立富山総合支援学校	富山市立蜷川小学校 射水市立大門小学校
学校給食 功労者	武隈 良成 (富山市立中央小学校) 武川 美子 (富山県立とみなみ総合支援学校)	山田 祐子 (富山市立船嶺小学校) 村松美和子 (富山市立大久保小学校) 中元 一枝 (南砺市立上平小学校)

学校給食とやまの日(入善町)の取組

県教育委員会では、「富山県食育推進月間」に合わせて11月中の1日または数日を「学校給食とやまの日」とし、県産食材を積極的に使用した学校給食を実施することとしています。県内の各小中学校、義務教育学校では、市町村や学校給食関係者の協力を得ながら、地域の食材をふんだんに取り入れた特色ある献立が提供されています。

富山県の北東部に位置する入善町は、チューリップや入善ジャンボ西瓜等が有名です。また、海の幸・山の幸が豊富であり、新鮮な地元の食材が給食に登場します。入善町では、「学校給食とやまの日」を「New(にゅう)膳(ぜん)の日」としています。11月19日(火)の「New(にゅう)膳(ぜん)の日」には、入善町産食材のキャベツ、米、大豆、生姜、里芋、ヤーコン、白菜、ねぎ、えごまの実、みそ等を使った「黒米ごはん、牛乳、鶏肉と大豆のえごまみそがらめ、キャベツの甘酢和え、入善野菜のうまみたっぷり汁」が提供され、町内の児童生徒は感謝しながらその美味しさを味わいました。

また、入善町立飯野小学校では、入善町農業公社や農業法人等の生産関係者を招待し「地場産ふれあい給食会」が開かれました。会では、招待者の紹介や給食委員の児童から生産者へのインタビューがありました。生産者の苦労話や工夫を凝らした栽培方法等を聞くことで、地域食材について理解し、生産者への感謝の気持ちを深めるよい機会となりました。



地場産ふれあい給食会



生産者へのインタビュー



当日の献立

令和6年度 全国高等学校総合体育大会

富山県高等学校体育連盟 理事長 岸 敬子

高校生のスポーツの祭典、「ありがとうを強さに変えて北部九州総体 2024」は、7月から8月に北部九州を中心に開催され、本県から30競技に502名の選手が参加しました。

本県選手はよく健闘し、水泳男子 100m平泳ぎ、ウエイトリフティング女子+76kg 級で見事優勝、ホッケー男子で2位、バドミントン男子学校対抗、相撲団体、ホッケー女子がそれぞれ3位入賞を果たすなど、12競技36種目で8位以上に入賞する好成績を収めました。

これら選手の活躍は、本人の努力はもちろん、先生方や各競技団体の熱心なご指導と家族のサポートの賜であり、県高体連ではこれまで以上に関係機関と連携し、高校スポーツの更なる発展・充実に努めてまいります。



現地激励会



ホッケー男子（石動高校）

第28回環日本海インターハイ親善交流大会

8月6日（火）～8月11日（日）の6日間、富山県と環日本海地域（中国遼寧省、韓国江原特別自治道、ロシア沿海地方）との高校生スポーツ交流「第28回環日本海インターハイ親善交流大会」が富山市で開催されました。バレーボール競技（男子）とバドミントン競技（女子）を通して、競技力の向上を図るとともに、各地域の相互理解と友情を深めました。



第12回 科学の甲子園ジュニア（中学生）全国大会

12月13日（金）～15日（日）に開催された第12回科学の甲子園ジュニア全国大会（会場：兵庫県姫路市「アクリエひめじ」）において、とやま科学オリンピック中学校部門の上位入賞者6名（1年生2名、2年生4名）で構成された富山県代表チームが優良賞を受賞しました。また、今大会では、選手宣誓を富山県チームが務め、代表の生徒2名がその役目を立派に果たしました。

今年のチームは、5中学校（片山学園中・富山大学教育学部附属中・富山市立水橋中・富山市立新庄中・南砺市立吉江中）からなる合同チームでした。大会前の研修会でチームワークを高め、大会では各メンバーがその実力を最大限に発揮しました。

なお、3月に開催される第14回科学の甲子園全国大会（茨城県つくば市）には、とやま科学オリンピック高校部門で好成績を収めた富山中部高校が県代表として出場します。



「とやま高校生マイスター」に65名認定

とやま高校生マイスター認定制度は、県内の高校生(工業科、農業科)を対象に、「ものづくりコンテスト」「ロボット競技大会」「農業クラブプロジェクト発表会」などの全国大会等において、特に優秀な成績を取めた生徒や、高度な資格を取得した生徒をマイスターとして認定することにより、生徒のやる気を喚起し、意識・意欲・専門性の向上を図り、「ものづくり人材」や「6次産業化人材」の育成に結び付けようとするものです。本年度は、65名の生徒が「とやま高校生マイスター」として認定されました。

永年勤続教職員表彰式

7月1日(月)、令和6年度永年勤続教職員表彰式が、県民会館で行われました。県全体では、勤続年数30年が123名、勤続20年が137名、合計260名が表彰を受け、その代表者に表彰状が授与されました。

広島教育長は、式辞で謝意を表しました。

これに対して、弥生陽子魚津市立清流小学校長が、代表として謝辞を述べられました。



令和6年度 教育功労者等表彰式

11月1日(金)、令和6年度富山県教育委員会教育功労者等表彰式が、県庁4階大ホールで行われました。この表彰は、学校教育や社会教育、文化やスポーツの分野で優れた業績をあげた方を表彰するもので、今年度は、50個人と14団体が選ばれました。

広島教育長は式辞で、「『教育県富山』として全国に誇りうる教育を展開しているのも、ひとえに、皆様の比類ない使命感と不断の努力の積み重ねに負うところが大きい」と功績をたたえられました。

受彰者の皆様の、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

